

令和5年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 群馬県
 農業委員会名： 太田市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和2年 7月 20日

任期満了年月日 令和5年 7月 19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	19
認定農業者	—	14
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	4
40代以下	—	1
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	33	33	15

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	3,306
農業経営体数センサス	1,825

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	2,578
女性	1,069
40代以下	95

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	386
基本構想水準到達者	505
認定新規就農者	18
農業参入法人	0
集落営農経営	1
特定農業団体	0
集落営農組織	1

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	計			
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,380	3,390				5,760

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	5,760 ha	3,705 ha	64.3 %
課題	管内農地の集積・集約化は段階的に進んでいたが、令和4年度は集約面積・集約率が減少に転じてしまった。集約後に規模の縮小や高齢化などによる離農・都市化の進展等が原因で減少したのではないかと考えられる。今後、集約された農地の継続的な活用や借受できる農業者及び新規の担い手など、耕作できる農業者を増やしていかなければならない状況である。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	R12 年度	集積率	85 %
今年度の新規集積面積	333 ha	農地面積(C)	5,760 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	4,038 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	70.1 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	53 ha	22 ha	31 ha
課題	相続による非農家化や高齢化による離農などにより、遊休農地の増加が考えられるため、農業委員や推進委員を通して、遊休農地の地権者との話し合いの中で、農地の利活用をマッチングさせていかなければならない。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和4年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	22 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	4 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和4年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	31 ha
--------------------------	-------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	なし
-------------------------	----

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	6 ha
---------------------------	------

(3) 新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者	令和4年度新規参入者
	2 経営体 1.8 ha	3 経営体 1.2 ha	4 経営体 1.2 ha
課題	新規就農へ意欲のある若者の情報収集や新規就農者への農地のあっせん等、各関係機関と連携をして、一体的な支援体制の構築や担い手のいない地域では、企業も地域の担い手になりえる存在であることから、企業の参入推進を図ることが必要。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均
	263 ha	344 ha	434 ha	347 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			34.7 ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6 日/月	最適化活動を行う 農業委員の人数	19 人
		農地利用最適化推進委員の 人数	33 人

(2) 活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	2 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8~11	②	農地パトロール 利用意向調査
12~1	①	利用意向調査

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3) 新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	13 回
---------------	------

開催時期	6月上旬頃	相談会名	農地貸し借り相談会
参加者数	9	開催場所	太田市農協各支所
相談会の内容	農地の貸し借りを通して、遊休農地の解消及び新規就農者等への農地のあっせん。		
開催時期	8月下旬頃	相談会名	農地貸し借り相談会
参加者数	4	開催場所	新田庁舎他
相談会の内容	農地の貸し借りを通して、遊休農地の解消及び新規就農者等への農地のあっせん。		

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)